

# 製品安全データシート

会社名 武藤化学株式会社

住所 〒113-0033 東京都文京区本郷2-10-7

担当部門 学術課

緊急連絡先/受付時間：月曜日～金曜日、9:00～17:00

電話番号 03-3814-5511 FAX 03-3815-4832

MSDS番号 192

改訂作成 2015年10月 2日

製品名 ムチカルミン染色原液

## 物質の特定

単一製品、混合物の区別：混合物

## 含有成分

化学名（一般名）	カルミン	水酸化アルミニウム	エタノール	塩化アルミニウム	水
含有量（1 L 中）	約1g	約1.1g	約50ml	約0.5g	約50ml
化学式	C <sub>22</sub> H <sub>20</sub> O <sub>13</sub>	Al(OH) <sub>3</sub>	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	AlCl <sub>3</sub>	H <sub>2</sub> O
官報公示整理番号 （化審法）		1-17	2-202	1-12	
CAS No.	1390-64-4	21645-51-2	64-17-5	7784-13-6	

## 危険有害性の分類

分類の名称：引火性液体（本液は約50%のエタノール溶液であり、エタノール単独に比べ引火しにくい）

危険性：加熱により引火または爆発することがある。

毒劇性物質等に該当する成分は含まれないが、取扱上注意を要する。

有害性：本液の50%を占めるエタノールは比較的無害の溶媒とみなされるが、蒸気を吸入すると麻酔剤として働き、繰り返しさらされた場合粘膜への刺激、めまい、頭痛などを起こす。

応急処置 目に入った場合：清水で十分に洗い流し、必要に応じて眼科医の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴を速やかに脱がせる。

吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移す。

飲み込んだ場合：口を多量の水ですすぎ、できることなら吐かせる。直ちに医師の診察を受ける。

火災時の措置 消化方法：少量の場合は、噴霧注入で消火可能である。

初期消化として粉末、二酸化炭素、粉末消化設備で消化する。

消化剤：少量の場合は大量の水（噴霧注入）

多量の場合は二酸化炭素、粉末

---

漏出時の措置 少量のこぼれ：漏れ出した本液を多量の水で希釈して洗い流す。  
多量のこぼれ：漏れ出した本液を土砂、土壌などで流れを止め、土砂、土壌を回収する。

---

取扱い及び保管上の注意

取扱い：換気扇または局所排気装置を作動し、保護手袋等を用い、直接触れないよう注意する。  
保管：直射日光を避け、換気のある所で保管する。

---

暴露防止装置

エタノールについて  
許容濃度：ACGIH(1989-1990) TWA 1,000ppm(1,880mg/m<sup>3</sup>)  
設備対策：測定器(可燃性ガス警報機、他)  
保護具：通常はゴム手袋、安全靴。  
高濃度の場所ではゴム手袋、安全靴、保護メガネ、防毒マスク着用

---

物理／化学的性質

外観：赤色の液体。  
臭い：アルコール特有の匂いがする。  
溶解性：水と任意の比で溶ける。

---

危険性情報 引火点：12.8℃ (エタノールについて)

本品は可燃性成分エタノールは約50%しか含まれなく、その為本品の引火性はエタノール単独に比べかなり高いと考えられる。

発火点：422.8℃ (エタノールについて)

爆発限界(エタノールについて)：上限 3.3Vol.%, 下限 19.0Vol.%

可燃性：揮発性が大きく、引火しやすい

---

有害性情報

毒性(エタノールについて)

:LD<sub>50</sub> 10.6g/Kg(ヤングラット) 7.06g/Kg (オールドラット)

慢性毒性：知見なし

がん原生：知見なし

急毒性(水酸化アルミニウムについて)

腹腔内注射 ラット LDLo 150mg/Kg

急性毒性(塩化アルミニウムについて)

経口毒性 マウス LD<sub>50</sub> 770mg/Kg

ラット LD<sub>50</sub> 3,730mg/Kg

---

